

中期経営計画の上方修正について

平成23年5月13日

株式会社 西京銀行

1. 中期経営計画の上方修正

1. 中計の進捗状況と上方修正後の目標

- 預金、貸出金の大幅な伸長により、今中計の「3つの挑戦」のうち、①預り資産残高「1兆円」と②個人ローン比率「40%」については、最終年度（H24/3）の目標を大幅に上回る進捗
- 特に、投資信託、個人年金保険等は取り組みを強化し、今年度250億円の増加を目指し、5力年（H27/3）目標であった預り資産残高「1兆円」は、2年前倒して達成予定（H25/3）

3つの挑戦	中計目標		実績	上方修正の目標
	H23/3	H24/3	H23/3	H24/3
①預り資産残高「1兆円」*	8,336億円	8,697億円	8,884億円	9,625億円
②個人ローン比率「40%」	37.9%	40.0%	42.0%	43.5%
③事業所融資先数「1万先」	9,500先	10,000先	9,630先	10,300先

(*)預り資産残高…預金、投資信託、個人年金保険（獲得ベース）、個人向け国債の合計額

2. 新スローガンと3つの新施策

1. 新スローガン

ネクストステージに向けた挑戦 — 預金量1兆円に向けた『挑戦元年』

2. 3つの新施策

① 投信・保険等残高250億円純増に向けた「資産運用サービス」の強化
— 投信・保険等販売を「第4の収益の柱」に

② 「アジア進出支援サービス」の立ち上げ

③ 「お客さま目線」の徹底による商品・サービス等の見直し

3. 3つの新施策 — 「資産運用サービス」の強化

投信・保険等残高250億円純増に向けた
「マネープラザ」の拡充と「ほけんプラザ」の新設

マネープラザの増設と人員増強

- ・今年4月から、マネープラザを県内外5ヶ所に新設（広島支店、柳井支店、防府支店、長門支店、小倉支店）し、12ヶ所に
- ・マネープラザの増設にあわせ、人員も倍増、79名に

ほけんプラザの新設

- ・来店型保険ショップ（今年4月、ゆめタウン山口出張所）を開設し、保障型保険販売に本格参入
- ・年内、ショッピングセンター（ISB）等を中心に2ヶ所増設予定

投信・保険販売研修の充実

- ・コンプライアンス重視の本格的な年間研修の導入により、投信・保険販売における顧客満足、顧客保護の徹底

4. 3つの新施策 — 「アジア進出支援サービス」の立ち上げ

お客様のアジア進出ニーズにこたえるため、営業統括部に「アジアデスク」を新設し、当行独自の取り組みを開始。

「アジアデスク」の設置

- ・お客様の幅広いアジアニーズを発掘すると同時に、青島現地法人（青島邦泰経貿有限公司）と提携し、現地情報の提供ならびに現地サポートサービスの提供
- ・当行行員をみずほコーポレート銀行の上海支店に研修派遣し、ノウハウを習得

産学連携による「アジアビジネスセミナー」の開催

- ・地元徳山大学との共同企画。5月から3回シリーズ（徳山大学留学生と交流会を含む）の定期開催

中国現地視察団の派遣

- ・年2回、中国に関心のあるお客様と当行役職員で視察。現地情勢を踏まえたアジアビジネスの検討をご支援

5. 3つの新施策 — 「お客さま目線」の徹底

「真のCS」をさらに進めるため、すべての商品、サービスを「お客さま目線」で見直す。

本部組織体制の見直し

- ・ 「お客さま目線」の徹底のため、本部機構改革を行い、以下の部署を新設
事務推進部：お客さまの事務手続きの簡素化に向けた取り組み推進
業務推進部：お客さまに対するスピード感ある対応を行うための行内事務の効率化推進
- ・ 営業店等の現場からの事務改善提案の実現のため、本部の全部長参加の「お客さま目線徹底プロジェクトチーム」の立ち上げ

CS活動 『+α運動』の継続

- ・ 「待ち時間短縮」や「より良い金融情報サービス提供」をテーマとしたCS活動

店舗リニューアル

- ・ 前年度同様、今年度も店舗リニューアルを積極的に行う予定。以下の8店舗を計画

①増床：厚南支店	③新築移転：南岩国支店、小月支店、美祢支店
②建替：広島支店、彦島支店、下関支店、八幡支店	